

## 広報



## ふ・れ・あ・い



編集・発行

印西市社会福祉協議会小林支部

TEL 42-0294

令和5年度小林支部役員  
理事・評議員・監事  
(令和5年7月1日現在)

## 支部長

山口 茂

## 副支部長

松藤かずこ

佐藤 隆(会計兼務)

## 相談役

清倉範夫

## 会計

小関摩利

岩井一美(書記兼務)

## 書記

石橋浩子

## 理事

風岡明美・吉田恭子

小川眞澄・鈴木敏男

橋本 勇・浅野和人

阿部芳雄・小林みゆき

## 評議員

池内千年・天ヶ谷利夫

佐々木敏明・高橋 誠

片岡カツ江・白石則夫

高林秀行・川村秀幸

小川眞澄・五十嵐 忠

市村 昇・荒井正州

郷家千賀男・鈴木敏之

佐藤和隆・瀧澤佳代子

森下康彦・木村智城

加藤啓輔・菰岡 翼

石橋鉄太郎・岩井 基

岩井 功・三島木 健

小川誠一郎

## 監事

川口隆之・山川信一

## 災害から身を守るために

阿部芳雄 (防災士)

我々、「防災士」の基本理念は、以下の3項目です。  
社会の様々な場で防災力を高める活動をしています。

1. 自助・・・自分の命は自分で守る。
2. 共助・・・地域・職場で助け合い。被害拡大を防ぐ。
3. 協働・・・市民、企業、自治体、防災機関が協力して活動する。

5月26日(金)午後7時3分に千葉県東方沖で、マグニチュード(M)6.2の地震が発生しました。この地震で茨城県と千葉県で最大震度5弱を観測し印西市でも震度4を観測しました。千葉県東方沖は地震が多い場所で、1987年(昭和62年)にはM6.7の地震も発生しています。1000年に一度という2011年の東日本大震災をターニングポイントとして、日本列島全体が地震の活動期に入りつつあるということは、多くの地震学者の共通の考えです。

今年、1923年(大正12年)の関東大震災からちょうど100年です。また、地震だけでなく、線状降水帯の豪雨や竜巻等の気象災害も多発しています。被災された方のインタビュー回答では「まさかこんなことになることは、此処に住んで何十年になるけど、此処で生まれ育って何十年になるけど、こんなこと初めて」。災害は、日本全国どこでも起こりうるわけで、たまたま無かっただけのこと、これからも無いことを保障するものではありません。



「防災」はできませんが、私たちの努力で「減災」はできます。大きな災害では自治体・消防・警察などの防災関係機関の対応が追いつかない事態が予想されます。

いざという時、被害を減らし、自分の身は自分で守るためにも、日頃の備えが何より大切です。

### 防災行政無線無料テレホンサービス

☎0800-800-0864

聞き取りにくい防災無線、もう一度聞きたい時には、こちらから直近の放送を聞くことができます。



## AED設置箇所調査中



小林支部では現在、地域内に設置されているAEDの調査確認作業をしています。  
次号で詳細記事を集予定です。

## 地区担当理事 (お問合せ先)

(太字…民生・児童委員)

- ・砂田, 新田…小川(97-0212)、鈴木(97-0221)
- ・台方…浅野(97-3135)、小関(97-2210)、松藤(97-2272)
- ・馬場, 牧場…山口(42-3892) 小林北 1, 2…阿部(97-3186)
- ・小林北 3, 4, 5, 6…清倉(97-0826)、風岡(97-1562)
- ・小林浅間…佐藤(97-5784)、吉田(97-4687)
- ・小林大門下…橋本(97-1060)、石橋(97-1806)



## \*\*\* 令和5年度行事予定 \*\*\*

行事名	予定日	対象者
* さくら会食会 (年10回)	毎月第2水曜日(5, 8月は除く)	65歳以上の独居の方
* 高齢者バスハイク (年1回)	未定	65歳以上の方
* すずかけの茶話会 (年2回)	12/5、2/6	65歳以上の方
* 支部研修交流会 (年1回)	1/17	評議員と理事
* ボランティア交流会 (年1回)	10/26	ボランティア活動者
* 地域見守り活動	通年	小中学生登下校時
* 広報誌『ふれあい』発行 (年3回)	7, 11, 3月	小林全戸配布



# 「ふるさと小林」

NPO法人小林住みよいまちづくり会

理事長 高橋誠

サラリーマンを六十歳で定年退職した年に保護司として地域の更生保護活動は約十七年間で、昨年末に第二の定年退職を迎えた。その際に市の功労者表彰、県知事表彰、法務大臣表彰を頂き良い区切りとなり、その後家族から喜寿のお祝いを受けました。

保護司として体験した事は、保護観察処分となった対象者は全国どこでもいる事、問題の要因は家族の中にある事、そして子どもの環境に大きく影響している事を感じました。その為犯罪を起こさない社会環境の一つとして「社会を明るくする運動」で小中学校の夏休みの作文コンテストでは、体験した中で「良かった探し」を文章にする事を毎年繰り返すことで良かった芽をのばす事を期待するものです。この作文コンテストで印西市は十二年間連続県内トップの応募点数を誇り、小林地区は市内トップの応募率で学校と地域活動の良好な関係が読み取れます。

小林住みよいまちづくり会では、毎年「小林鯉のぼり大会」を開催し地域の方々から寄付して頂いた鯉のぼり七十四匹を四月九日～五月五日、日曜日の間、掲揚されました。今年で十八回目となりました。

市の広報でも大きく取り上げられ、ケーブルテレビ206でも取材を受けました。子どもの健やかな成長を願うのは誰でも同じで、多くの方々から感謝の声が届けられました。より良い環境となればと願います。継続する為に皆さんの参加協力が必要です。

小林子ども守り隊（第一）隊長として毎朝、横断歩道で旗振り子ども達との挨拶は、規則正しい朝起きる習慣となり、明るい挨拶は人間形成の第一歩と思いきや大きな声を張り上げています。子ども達の一年の成長は目を見張るものがあり、元気を分けてもらっています。

この地に住んで約四十年となり子ども達、孫達も健やかに育ててもらったこの地に感謝して、ご当地ソングの作詞に応募し、採用された「ふるさと小林」に武藤氏作曲により昨年完成しました。この小林の良い処が語り継がれていく機会になればと願うばかりです。



## \*\*\*\*\*さくら会食会\*\*\*\*\*

（お一人暮らしの高齢者の食事会）

小林コミプラが改修工事のため、「さくら会食会」は月に一度、会員33名の皆さまのご自宅に軽食をお届けしています。誕生月の会員さんには心ばかりのお花のプレゼントを添えて…。皆さま、留守もせず、楽しみに待っていてくださいます。配食準備は、牧の里東町内会の集会所をお借りして、ボランティアの「ラベンダーの会」さんにお手伝いいただき、配達は8名の支部理事が徒歩、自転車、車でお届けしています。改修工事が終わり、10月からは従来の会食会が始まります。スタッフ一同、皆さんの笑顔をお待ちしています。



まずは仕分け作業

### 誕生花とお弁当



保冷バッグに入れ出発



準備完了、次は来月の打ち合わせ

**編集後記**・・・今年の大門下「カルガモの池」畔の鯉のぼり、コロナも落ち着き、何年か振りに、心から薫風に泳ぐ鯉のぼりを愛でることができました。よく見ると、中にはかなり傷んだものもあり18年の歴史を感じます。そこで、皆さまのお宅に出番のなくなった鯉のぼりがありましたら、ご寄付いただけますでしょうか。最寄りの支部役員に連絡いただきましたら、引き取りに伺い、小林住みよいまちづくり会さんにお渡しいたします。来年の5月、小林の空が更に華やかになることを願い、ご協力よろしくお願いします。

## 小林駅に 広報「ふれあい」



小林支部の広報「ふれあい」を多くの皆さまに読んでいただきたく、小林駅自由通路に配布ラックを設置しました。これからも折々に小林の情報を発信したいと思います。又、地域の皆さまからの投稿や情報提供等をお待ちしています。

